

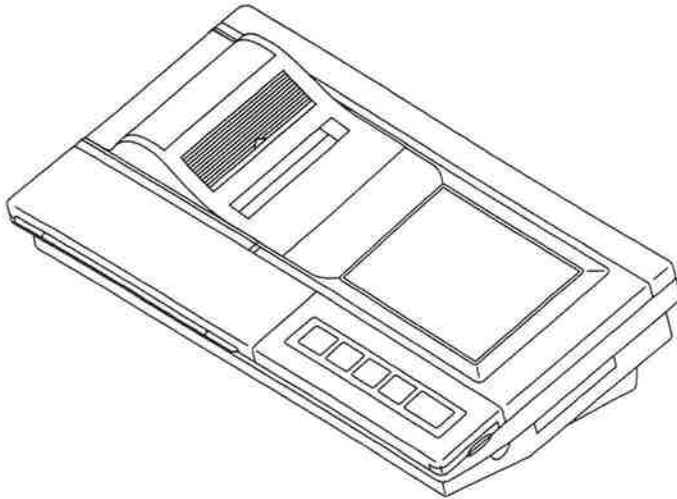
1.2 SJ-400の標準構成

SJ-400の標準構成および特別付属品の使用例について示します。

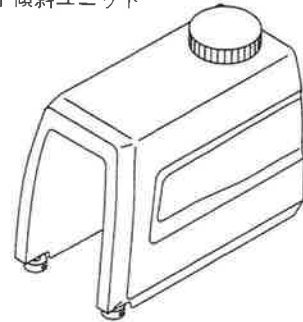
■ SJ-400の標準構成

お買い求めになったSJ-400のパッケージに、次の図に示す製品が入っていることをご確認ください。

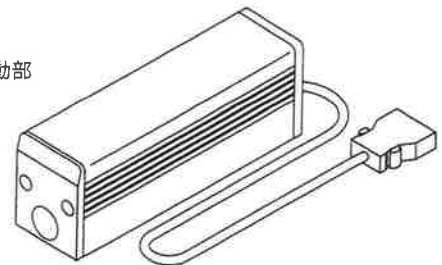
演算指示部



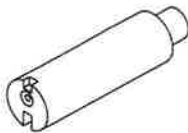
上下傾斜ユニット



駆動部



検出器本体



標準スタイラス



スキッドレス
ノーズピース



スキッド付き
ノーズピース



符号	SJ-401 (測定力4mN)	SJ-401 (測定力0.75mN)	SJ-402 (測定力4mN)	SJ-402 (測定力0.75mN)
セットNo.	178-946-2	178-956-2	178-940-2	178-958-2
上下傾斜ユニット	12AAC690			
駆動部	25mm駆動部		50mm駆動部	
検出器本体	178-397	178-396-2	178-397	178-396-2
標準スタイラス	12AAB403 (先端R5μm)	12AAC731 (先端R2μm)	12AAB403 (先端R5μm)	12AAC731 (先端R2μm)
スキッドレスノーズピース	12AAB355			
スキッド付ノーズピース	12AAB344			

1

SJ-400 の概要

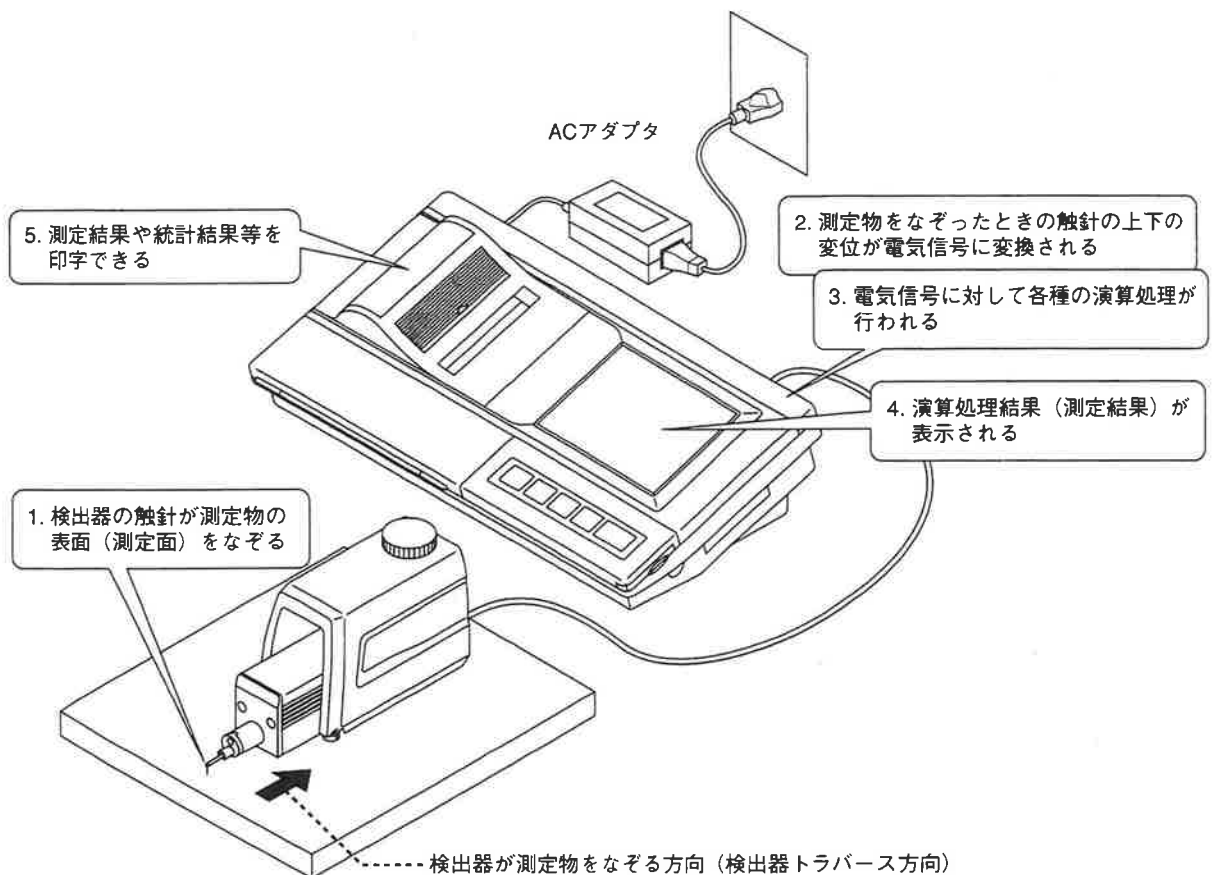
1.1 SJ-400 の概要

SJ-400は、触針式の現場型表面粗さ測定機です。SJ-400では、各種の粗さ規格に基づいて表面粗さやうねりを演算し、その結果をタッチパネルに表示して、記録紙に印刷することができます。

SJ-400の粗さ測定の仕事、SJ-400の特長などを以下に示します。

■ SJ-400の粗さ測定の仕事

SJ-400では、検出器の触針が測定物表面の微細な凸凹をなぞり、その際の触針の上下方向の変位量および横方向の移動量から表面粗さを求め、その結果をタッチパネルに表示します。

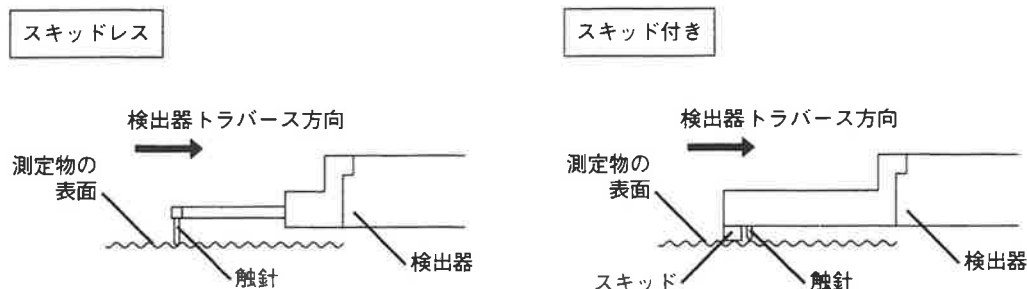


■ SJ-400の特長

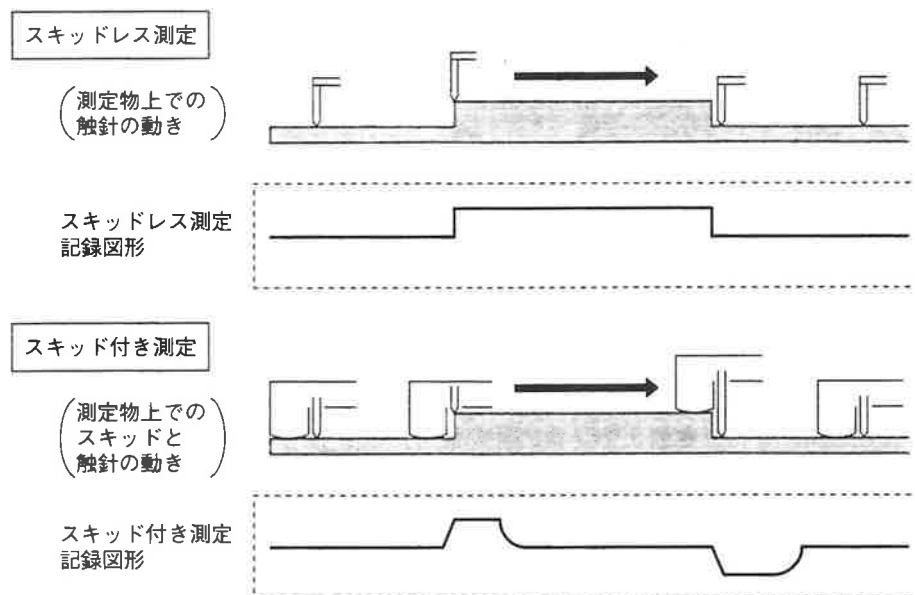
- 小型高機能で、持ち運びが容易
SJ-400は小型で高機能な表面粗さ測定機です。アタッシュケースを使えば、より簡単に全ユニットを持ち運ぶことができます。また、内蔵電池による駆動が可能のため、加工現場などAC電源を確保しにくい場所での粗さ測定が簡単に行えます。
- 測定範囲が広く、さまざまな粗さパラメータの演算が可能
最大 $800\mu\text{m}$ ($\pm 400\mu\text{m}$) までの測定範囲をもち、表面粗さをさまざまなパラメータで評価することができます。
- オートスリープ機能により、省電力を推進
電源がオンであっても、5分間SJ-400を使用しないと、自動的に電源がオフ（オートスリープ状態）になります。なお、電源がオフになっても、SJ-400は測定条件と測定結果を記憶しています。
- タッチパネルでの測定曲線の表示が可能
SJ-400では、大画面のタッチパネルで測定曲線を見ることができます。
- タッチパネルで操作が簡単
SJ-400では、粗さ測定のための各種条件設定をタッチパネルで行うことができます。タッチパネルには各種メニューなどが手順に従って鮮明に表示されますので、操作が楽に行えます。
- 内部メモリやメモリカードにより、測定条件やデータの保存が可能
SJ-400では5件の測定条件を内部メモリに保存することができます。また、メモリカードを用いて、さらに測定データや20件までの測定条件を保存することができます。
- 内蔵プリンタにより測定記録をその場で印刷
SJ-400では、内蔵プリンタにより、測定条件、演算結果、および測定曲線を印刷することができます。
- 統計処理機能を搭載
SJ-400に搭載されている統計処理機能により、ヒストグラムなどを作成することができます。
- 各種の粗さ規格に対応
SJ-400は、JIS-B0601-1994、JIS-B0601-1982、DIN、ISO、ANSIの各粗さ規格に対応しています。
- スキッドレス測定により、うねりや段差の測定が可能
スキッドがないノーズピースを使用する測定（スキッドレス測定）により、波長の長いうねり、段差、微細な形状などを測定することができます。
- 上下傾斜ユニットにより水平出しが容易
測定物（ワーク）に対する検出器の上下位置決めや水平出しを行いやすくするために、上下傾斜ユニットを採用しています。
- 任意の位置からの測定が可能
SJ-400では、駆動部の駆動範囲内の任意の位置から測定を開始することができます。

■ スキッドレス測定とスキッド付き測定

SJ-400では、スキッドレス測定とスキッド付き測定を行うことができます。検出器の状態はそれぞれ以下のようにになります。



同じ測定物に対して、スキッドレス測定を行った場合の測定曲線と、スキッド付き測定を行った場合の測定曲線のイメージを、以下の図に示します。



上図のようにスキッドレス測定の場合は、測定物表面の微細な形状が測定曲線に反映されます。このため、スキッドレス測定ではうねりや段差の測定が可能になります。

また、スキッド付き測定の場合は、スキッドを基準とした触針の上下の変位量を測定します。このため、測定面の水平出し作業が非常に容易となります。

■ SJ-401 と SJ-402

SJ-400には、SJ-401 と SJ-402 の2タイプがあります。SJ-401は、駆動部の駆動範囲が25mmです。SJ-402は、駆動部の駆動範囲が50mmです。演算指示部や上下傾斜ユニットなど、駆動部以外のものは、SJ-401 と SJ-402 のどちらも同じ仕様です。

- 参 考
- ・ このユーザーズマニュアルでは、SJ-401 と SJ-402 に共通する説明の場合はすべて「SJ-400」と表記しています。SJ-401 固有（または SJ-402 固有）の説明の場合は、「SJ-401」（または「SJ-402」）と表記しています。
 - ・ 仕様については、「13章 製品仕様」を参照してください。